



犬の過剰繁殖

不妊・去勢の徹底を

「現在、福岡県内の保健所における子犬や子猫の引き取り件数は、全国でも多い方です。これには、飼い犬（猫）への不妊・去勢手術が、まだ徹底されていない背景があります。」

この嘉穂保健福祉環境事務所では、旧嘉飯山区域を受け持っています。昨年ここで取り扱った犬や猫は841頭にもなります。

私たちの犬舎で預かる日数は、短い間ですが、食事を与えている間に、やはり情も入



▶ 嘉穂保健福祉環境事務所
衛生課 副長 西園 巧宏さん

ります。

飼い主の皆さんには、愛情を持って犬や猫に接して欲しいと同時に、不幸な生命をこれ以上増やさないで欲しいです。と、嘉穂保健福祉環境事務所の西園さんは、熱く語ります。

メス犬は1回の出産で、平均6頭もの子犬を出産します。しかも、1年間に2回の出産をするため、子犬の数は、相当な数になります。

当然、こんなに多くの犬を、私たち人間社会で支えることは、不可能に近いのです。飼い主が見つからない犬たちは、不用犬として保健福祉環境事務所に持ち込まれ、また捨てられて野良犬として捕獲され、処分されています。望まれない命ほど、悲しいものはありません。愛犬にもぜひ、家族計画を。

飼う前の教育不足

責任は飼い主です

「全てのスタートラインとなる飼い主の事前の勉強なしでは、不幸な命は後を絶ちません。つまり、望まれない命を救うためには、良い飼い主を育てることが重要かつ優先課題となっています。犬の中途放棄率が高いのも、事前の勉強不足だと思います。」

それぞれの地域で、モデル飼育者や飼い犬が、良い影響を波及^{はきわたり}して欲しいですね。そして大切な犬の最期を、腕の中で看取ってくれるような飼い主が増えることを、切に願います」と、福岡県動物管



▶ (財) 福岡県動物管理センター 業務課長 小山 幸江さん

理センターの小山さんは、力強く訴えます。

犬の寿命は約15年。その間、楽しいことばかりではありません。病気もすれば、散歩やフン尿の始末など、大変なこともたくさんあります。それが、365日毎日続くのです。

命を預かるということは、本当に大変なことです。犬を飼うということは、家族全員の理解と協力が、必要不可欠なのです。そして、犬の最期を見届けるまでが、飼い主の責任なのです。

犬との長い暮らしの中で、飼い主の皆さんが得られるのは、犬の純粋でまっすぐな、飼い主への愛。そして、たくさんの優しい思い出です。

それを自分にとって、かけがえのないものだと思う人が、犬を飼ってください。



犬を飼いたい人は まずチェック

- ☐ 毎日の食事、散歩など犬の世話をする人がいますか。
- ☐ 家庭や人間社会でトラブルなく犬を飼育していくためには、しつけが必要です。しつけをきちんとできる人はいますか。
- ☐ 犬の飼育が禁止されている住宅ではありませんか。
- ☐ 犬を飼う場所と広さがありますか。また、隣近所に迷惑をかけない飼い方ができますか。
- ☐ 犬の寿命は10年以上です。家族の一員として、最後まで飼育できますか。
- ☐ 犬を飼育することに家族全員が賛成していますか。
- ☐ 子どもが欲しがっているから、犬を飼うという人へ。大人が必ず、責任を持てますか。
- ☐ 家族が一人増えるのと同じです。食費、登録料、狂犬病予防注射料、動物病院への出費などを考えていますか。